



# HOSPIA

No.  
48

【ほすぴあ】 きくがわ 病院だより

平成23年1月20日発行



## 地域の救護病院として

12月5日、東海地震を想定した防災訓練を実施しました。  
地元自治会の方に模擬患者となっていていただき、災害現場での治療優先順序の選別（トリアージ）  
を主に行いました。地域の救護病院の役割を担うため、今後も継続して訓練を行っていきます。

### 菊川市立総合病院広報

発行／菊川市立総合病院 〒439-0022 静岡県菊川市東横地1632番地 TEL 0537-35-2135 (代)・FAX 0537-35-4484  
URL <http://www.kikugawa-hosp.jp>

# 新年のご挨拶



院長 村田英之

明けましておめでとうございませす。

平成23年の新春を迎え、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

今年の干支は「卯」で、ウサギのように飛び跳ねて飛躍する年になるよう願うばかりですが、リーマンショックの後遺症から抜け出すのはなかなか大変のようです。医療の分野においても医師不足、看護師不足、財源不足と、無い無い尽くしの中、厳しい病院運営が続くと見込まれます。

当院は平成21年3月に5年間の中期計画を作成し、当院が今後目指す方向や役割を定めました。昨年までの2年間は主に、病院機能の強化に取り組んできました。例えば、看護師の配置人数を増やし入院患者さんにとって手厚い看護体制に改めました。また、脳卒中や骨折の患者さんで、急性期の治療が終了してもすぐに在宅復帰できない人のために、回復期リハビリテーション病棟を開設しまし

た。その他、助産師外来の開設、精神科病棟の個室化、電子カルテの導入などを実現させました。

今年は、診療体制の更なる充実に力を注いでまいりたいと思えます。とはいえ、この地域の勤務医と開業の先生を合わせた医師数は全国平均の半分以上です。これまで病院医師の確保は大学病院からの派遣に頼ってきましたが、それだけでは医師不足の解消は困難な状況です。そこで、昨年からの医療資源の乏しい地域に必要な知識と技能を持った医師をこの地域で養成しようと、磐田市立総合病院、公立森町病院と協同で、家庭医養成プログラムを立ち上げました。

家庭医とは、何科の病気であるかに関わらず、身近な病気に関して診察や相談ができる医師です。複数の病気を持つ高齢者を多く抱え、かつ医師数が少ない地域では、地域医療再生の切り札になると考えられています。家庭医の専門研修医は、医学部卒業後2年間の初期研修を終えている医師です。本年度は熱意ある研修医4名が全国から集まり、3病院に分かれて研修を行っています。当院では小笠診療所内で家庭医療の実習研修のほか、病院内で内科、外科、産婦人科などの研修を行っています

す。また、病棟患者を受け持ち、救急外来の診療にも携わってくれており、当院勤務医の負担軽減にもつながっています。

今年のもう一つの大きな取り組みに、菊川市家庭医療センターの開設があります。今の小笠保健センターを改築して、夏頃の開院を予定しています。家庭医療センターの機能としては、家庭医療の実習研修の場になるほか、現在の小笠診療所の内科診療を引き継ぎます。また、インフルエンザなどに対する感染症医療、病気を予防するための種々の健診、大地震などの大規模災害時の救護所にもなります。その他、家庭医療センターには予防、医療、介護・福祉が一体化して切れ目のないサービスを提供する地域包括医療ネットワークの中心的な役割を期待しています。

菊川病院は、菊川市が目指す「生涯安心していきいき暮らせるまち」の実現のため、職員一丸となって力を発揮してまいりますので、今後ともご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

今年が皆さまにとって良い1年になりますようにご祈念申し上げます。今年のご挨拶といたします。



# 家庭医による産婦人科診療が始まります！

平成22年4月から、菊川市立総合病院と小笠診療所で家庭医による診療が始まりましたが、平成23年1月17日からは、小笠診療所で家庭医による産婦人科診療を開始しました。本院では、家庭医が産婦人科診療を行うことで、菊川市のお産環境の充実につなげていきたいと考えています。

家庭医は、“よくある健康問題を幅広く扱う”医師ですが、その一環として、婦人科診療、妊婦健診や分娩も行います。産婦人科専門医の監督の下、アメリカや日本で産科婦人科の研修を終了した指導医を含む家庭医が担当します。

婦人科診療では、「おりもの、生理不順、婦人科検診」その他よくある婦人科診療に対応します。

産科診療では、妊婦健診から分娩、産後までを担当しますが、妊婦健診中、少なくとも2回は菊川市立総合病院産婦人科医の定期チェックを受けていただきます。また、合併症を伴うハイリスクの妊娠は適切に産科専門医に紹介するなど、綿密な連携の下、菊川市立総合病院にてお産をしていただきます。

家庭医は、小児科診療も行いますので、出産後は母子ともに1人の家庭医のケアを受けられるというメリットがあります。

まずは、電話にてお気軽にご相談ください。

**【担当医】** 藤岡洋介、鳴本敬一郎、綱分信二、内堀善有、中根浩伸、新井大宏（顧問：佐倉東武）

**【診療日時】** 予約制ですので、必ず事前に電話にてご連絡ください。

婦人科：月曜～金曜 8時30分～11時30分 13時～16時30分

産科／妊婦健診：週1回月曜 13時～16時30分

**【妊婦健診の公費助成券について】**

妊婦健診の公費による受診票は、県内にお住まいの方のみ利用可能です。

県外からの里帰り出産等の方につきましては、お住まいの市町村にご確認ください

**【予約／問い合わせ】** 小笠診療所 0537（73）2267



# 人間ドック・簡易脳ドックのお知らせ

菊川市立総合病院 健診センターでは、菊川市の国民健康保険に加入している方を対象に人間ドック・簡易脳ドックを実施しております。市の助成を受けて受診することができますので、自己負担額が軽減できます。

また、その他に各種健康診断も行っています。一年に一度の定期的な健診をおすすめいたします。

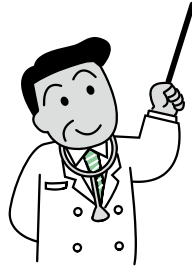
**【助成対象者】** 4月1日現在、1年以上菊川市の国民健康保険に加入している人で、国民健康保険税の未納がない世帯の方（昨年度までは30歳代のみが対象でしたが、全年齢対象となりました。）

**【費用】** 人間ドック：自己負担額 14,650円 + 国民健康保険負担額（助成額）20,000円  
簡易脳ドック：自己負担額 11,500円 + 国民健康保険負担額（助成額）20,000円

**【検査項目】** 尿検査、血液検査、心電図検査、胸部・胃部エックス線検査、腹部超音波検査、大腸検査など

**【予約／問い合わせ】** 健診センター 0537（36）5585





# ほすぴあ版 三二健康講座

## 動悸について

内科 松本 有司

胸がドキドキする。心臓がバクバクする。ドキッとすることがある。

症状の訴えは様々ですが、いわゆる「動悸」で多くの方が病院を受診します。緊張すれば胸はドキドキするし、走れば心臓はバクバクします。これは生理的な心配のない症状です。

では、心配な動悸とはどんなものでしょうか？その原因のひとつが不整脈です。動悸を感じたら自分で脈をとってみましょう。右利きの方なら、右手の人差し指と中指で左手の手首を触ってみましょう。左手のひらを上に向けて、手首の親指側を軽く触れてみてください。そこには、橈骨動脈とうこつどうみやくがあり最も簡単に脈をふれることができます。脈が不規則であればそれだけで不整脈です。脈がとんでいるだけであれば期外収縮きがいしゆくという不整脈で、少なくとも早急な対応は必要ありません。とんだ直後の脈が強く打つため瞬間的にドキッとします。しかし、脈がまったく不規則にバラバラにふれる場合には注意が必要です。心房細動しんぼうさいどうという不整脈をご存知でしょうか？加齢とともに増加し、60歳台で1%、80歳台で3%の人が罹患りかんします。怖いのは、この不整脈が脳塞栓症のうそくせんしょうの原因となることです。心房細動により心臓の中に血液のよどみが生じ、固まった血液がはがれて脳の血管につまるのです。ワーファリンという、血液を固まりにくくする薬を飲めば脳塞栓症は予防できます。糸引き納豆を食べてはいけないことでも有名な薬です。躊躇せず病院にかかることをお勧めします。

次に、脈が不規則でなくても不整脈の場合があります。それは、脈が速い場合です。健常人でも体調がすぐれなかつたり熱があつたりすれば1分間に120回程度の脈拍数にはなります。それ以上

になると脈拍数を数えることも難しく、頻脈性不整脈ひんみゃくせいふせいひんぱく（発作性上室性頻拍ほっさせいじょうしつせいひんぱくや心房粗動しんぼうそどう、心室頻拍しんしつひんぱくなど）と考えたほうがよいでしょう。突然脈が速くなり、突然元に戻るのが特徴です。とくに頭から血が引く感じで立ち上がれないような場合は、脈が速く打ちすぎて血圧が下がってしまっている状態（心原性ショック）のため救急車を要請する必要があります。

さらに、不整脈以外でも動悸の原因として重大な疾患があります。貧血（原因として消化管出血が多い）や心不全こうじょうせんきのうこうしんしょう、甲状腺機能亢進症こうじょうせんきのうこうしんしょうなどです。動悸以外の症状として貧血であれば顔色不良やふらつき、タール便が、心不全であれば呼吸苦ふしゆや浮腫、体重増加が、甲状腺機能亢進症であれば甲状腺腫や体重減少、多汗が重要です。一方、更年期障害でも動悸はよく見られる症状のひとつです。閉経期の女性で上半身のほてりや背中の痛み、下肢の冷えなどとともに見られるのが特徴です。心配はありませんが、本人の苦痛が強ければ漢方治療の適応となります。

最後に、神経質な（気にしすぎる）ために生じる動悸の特徴を示します。昼間動いている時は気にならないのに、夜寝ていると心臓の拍動が強く感じられて気持ちが悪いという訴えです。健常人でも横向きで耳を枕につけて寝ていると心臓の拍動がはっきり感じられるときがあります。それは、耳のそばに浅側頭動脈せんそくとうどうみやくが走っているため心配はありません。とはいえ、ひとり暮らしをしていたりすると特に夜間心細くなるのは無理もないことです。一度は病院で検査してもらうのがよいのかもしれない。

# 「夢」と「眠り」の話

精神科 内田 勝久

あけましておめでとうございます。この「ほすびあ」が皆さまのお手元に渡るのは、お正月もだいぶ過ぎてしまった頃だと思います。今年の初夢はどんなものだったでしょうか。いい夢を見ることができましたか。今回私は、夢と眠りにまつわるお話をお届けしたいと思います。

## 「夢で自己カウンセリング」

悩みを抱え、うつっぽくなってしまったために精神科を受診する患者さんがいます。そしてその様な方から、「変な夢ばかり見るのだけれど、どうしたらいいですか。」といった質問を時々受けます。眠れていないわけではないけれど夢見が悪いため、すっきり寝た気がしないという訳です。そのような時、私は「大丈夫です。それはあなたが夢でカウンセリングを受けているのです。自分の力で精神的な不調を治そうと努力している証です。しっかりその夢を見て下さい。」と答えるようにしています。夢をなぜ見るのかといった議論が昔から多くなされてきましたが、夢は悩みを克服するためのカウンセリングの役目も果しているらしいのです。

何らかの精神的ストレスを受けて、慢性的に不安や抑うつ感が続く病態（軽いうつ状態）に陥った人の回復過程を観察した結果、そのストレスに関連した夢をよく見た人のほうが見なかった人と比べ回復が早かったという報告があります。何か悩みを抱え、それについて誰かに相談しようとする場合、ゆっくりと腰を落ち着けて話を聞いてもらえる場所と時間が必要となります。カウンセリングが行われるような場所も、やはり静かで身体的にも精神的にも落ち着くことができる場所が推

奨されます。脳が自ら混乱した感情を整理しようとするとき、そのもってこいの時間帯が睡眠であり、自己カウンセリングが夢なのです。

## 「寝て受験勉強(?)の仕上げを」

受験生のように歴史の年号や数学の問題の解き方等、いろいろなことを覚えなければいけない人は、ものを覚えようと努力した後（学習した後）、睡眠をとって夢を見るのが大切です。

以下のような、ネズミの実験があります。ネズミを迷路の箱の中に入れ、迷路の終点に餌を置きます。餌を食べるためには、ネズミは迷路の中を走り回らなければなりません。そして、その迷路に何度も挑戦させます。餌により早く到達するには、ネズミは迷路の道順を記憶しなくてはなりません。ネズミが一生懸命に迷路を走りながら順路を覚えようと努力している時、同時に、脳の記憶に関係した部分の反応も記録します。その後、ネズミが夢を見ていると思われる状態の時にも同じように脳の反応を記録すると、その迷路を昼間走っていた時と全く同じ反応が記録されるのです。どうやら、ネズミは昼間の学習を夢の中で復習しているらしいのです。昼間覚えたものを、きちんと脳内の記憶として留めるためには、夢（睡眠）が必要という訳です。

せっかく勉強したことを忘れてしまうのはもったいない、気分もなるべくすっきりしていきたいと思う方は、睡眠時間は削らずいっぱい夢を見てください。怖い夢だろうが楽しい夢だろうが、それはあなたにとって有意義な夢であるはずです。

# 腹部超音波検査のお話し

診療放射線科 戸塚 敏

## 超音波検査とは

ふつう「エコー」と呼ばれている検査です。超音波は人間の耳には聞こえない高い音で実は魚群探知機（魚を探す機械）に使用されているものと基本的に同じものなのです。

これを医療に利用されたものが超音波検査です。人体に超音波をあてると組織にあたって戻ってきます、この戻ってきた音の強さの違いを画像としてテレビに映し出して行う検査です。ここ20年くらいの間にいろいろな分野の診療や治療において臨床応用され、現在では欠くことのできない検査機器として定着しています。身体の天辺から足のつま先まで多くの領域が対象となります。ただし、骨や空気を多く含む肺は音が伝わらないという弱点もあり応用できません。

## 腹部超音波検査で何がわかるの？

肝臓、胆のう、<sup>すい</sup>膵臓、<sup>ひ</sup>腎臓、脾臓、膀胱、前立腺、さらに子宮、卵巣、腹部大動脈が対象となります。機器の進歩もあって従来調べる事の少なかった食道、胃や腸などの消化管も検査対象となっています。中でも胆石、早期肝臓がんの発見に有用です。胆石は何らかの症状を認めず、検診で初めて指摘される事も多く、保有者の10%は生涯無症状で経過するといわれています。肝臓は、がんはもちろん脂肪肝の診断や、B型・C型肝炎ウイルスが原因となっている慢性肝炎は定期的な検査で肝臓の状態が悪化していないか頻用されています。その他腎結石、ポリープ（胆のう）、<sup>すい</sup>膵炎、

腸閉塞、腹部動脈瘤、虫垂炎の診断に威力を発揮する場合がありますし、大きな胃がんや大腸がんの発見がエコーであったという例も少なからず存在します。

お腹が痛くなって病院を受診された際、お腹のどの臓器の痛みなのかを調べたい時、この検査が診断にとっても役に立ちます。レントゲンを使わないので被曝の心配もなく、ただ寝ているだけで苦痛もなくとても安全です。

## こんな方にお勧めです！

過去の健康診断で肝機能異常を指摘された。血中のアマラーゼが高いといわれた方、尿検査で潜血陽性、または蛋白が陽性といわれた方、症状として食後に右上腹部の痛みを感じることもある方、油っぽい食事をした後にお腹特に背中に痛みを感じる方、体重が増えてお腹回りが以前より大きくなったと感じる方、あおむけになった時、お臍の近くで硬いものが触れるようになった方など気になる症状がありましたら受診されることをお勧めします。

以上のように腹部超音波検査は、気楽に受けていただける検査ですので最近では人間ドックでも腹部超音波検査を行う施設が増えてきました。一度皆さまも健康管理活動の第一歩として受けてみてはいかがでしょうか。



# 初診外来のご案内

当院では、初診外来の受診について以下のとおり紹介状や電話予約が必要な場合があります。また、各科によっては受付曜日や時間が異なりますので、必ず裏表紙の「外来診療担当医表」をご覧ください。  
 なお、他の医療機関から当院へ受診される方は紹介状をお持ちください。

診療科	初診外来の受診	留意事項
内科	紹介状が必要です ただし、健診等で精密検査の対象となった方は受診できます	要精密検査対象の方以外は、紹介状がないと受診することができません 詳しくは、下記問い合わせへご連絡ください
リウマチ科	制限はありません※	※木曜日（隔週）のみ診療
小児科	制限はありません	電話で予約することができます （裏表紙の“特記事項”をご覧ください）
脳神経外科	制限はありません※	※火曜日のみ診療
外科	制限はありません	木曜日の初診受付は8時～10時
心臓外科	初診は受付していません	再診のみ診療
整形外科	制限はありません※	※脊椎・脊髄の診療は予約が必要ですので、下記問い合わせへお願いします
ペインクリニック	予約制となっています	予約する場合は下記問い合わせへお願いします
形成外科	制限はありません※	※火曜日のみ診療
泌尿器科	制限はありません※	※木曜日は紹介患者のみの診療
産婦人科	制限はありません	分娩を希望される方は下記問い合わせへご連絡ください
眼科	制限はありません※	※水・木曜日のみ診療
耳鼻咽喉科	制限はありません※	※火曜日は再診予約のみ、木曜日は休診
皮膚科	制限はありません	
精神科	電話予約が必要です	予約する場合は下記問い合わせへお願いします
小笠診療所 （内科・外科・診療内科・小児科）	制限はありません	連絡先【電話】0537-73-2267

問い合わせ 【電話】0537-35-2135（代表）

## 【新年を迎える門松】

今年で連続12年目となった「ボーイスカウト菊川第一団」の皆さんによる門松づくり。患者さまの早期回復を祈念し、心を込めて病院の正面玄関に飾っていただきました。

新しい良き年を迎えることができ、ありがとうございました。



## 【患者さんのために役立てて】

病院ボランティア団体「星」の皆さんが、3台の車いすを寄贈してくださいました。

平成22年12月21日、メンバー14人が来院。昨年受賞した「中日ボランティア賞」（中日新聞社東海本社、中日新聞社会事業団主催）の副賞（活動金）を「自分たちで使うよりも病院に役立てたいというみんなの思いが一致しました。不足している車いすを患者さんのために役立てていただけたら」と、今回の寄贈にいたった思いを話されました。

病院ボランティア団体「星」は昭和62年に発足し、病院での案内や車いす利用者の介助、職員との意見交換など、日ごろから病院と市民とのパイプ役として活動してきています。日ごろの活動も含め、本当に感謝しております。ありがとうございます。



# 2011年1月の外来診療担当医表

受付時間 8:00~11:00 (土、日、祝日は休診)

平成22年12月13日現在

菊川市立総合病院

区分		月	火	水	木	金	特記事項	
内科	午前	初診	副院長 松本有可 ◎石橋るり	○富永宏睦 △西野真史	高嶋泰世 △山田貴教	○鈴木敬太	◎望月一文 △野中大史	初診は原則 紹介患者さまのみ
		消化器	◎望月一文	副院長 二見肇	◎石橋るり △濱屋寧	◎望月一文 ◎石橋るり	副院長 二見肇	禁煙外来(予約制) (火・金午前中)
		内分泌		△岩鬼裕之			△釣谷大輔	初診は当日、初診担当
		再診 呼吸器	△長谷川浩嗣			△穂積宏尚		呼吸器・内分泌・腎臓内科
		循環器	○富永宏睦	副院長 松本有可 高嶋泰世	副院長 松本有可 ○鈴木敬太	○富永宏睦	○鈴木敬太	初診は当日、初診担当 医師が診察致します
	腎臓					△小野雅史(隔週)	診療日 1/7・1/21	
	午後	再診		榎村義典(循) △岩鬼裕之(内)			△釣谷大輔(内)	
リウマチ科	午前				△大橋弘幸(隔週)		診療日 1/13・1/27	
小児科	午前	初・再診	△佐竹栄一郎 診療部長 久保田晃 ／宮城佳史(隔週)	診療部長 久保田晃 宮城佳史	診療部長 久保田晃 宮城佳史	診療部長 久保田晃 宮城佳史	診療部長 久保田晃 宮城佳史	(電話予約専用ダイヤル) 0537-35-2829
	午後	特殊外来 (再診予約制)	(内分泌外来) 診療部長 久保田晃 (神経外来 第1・3週) △松林朋子	(心臓外来 第2週) △岩島寛 (神経外来 第1・3週) △松林朋子	(肥満外来) 診療部長 久保田晃 二混・三混 予防接種	(神経外来 第1・3週) △平野浩一 乳児健診 予防接種	(アレルギー外来) 診療部長 久保田晃 予防接種・ほしか・風邪他 (心臓外来 第4週) △石川貴充	当日診察予約 5時~10時
脳神経外科	午後	初・再診		△酒井直人				(火) 受付13時~15時
外科	午前	初診	副院長 大貫義則	石松久人	◎内山隆	○東正樹	○東正樹	乳腺初診電話予約
		再診	◎内山隆	副院長 大貫義則	副院長 大貫義則	◎内山隆	石松久人	15時~16時30分
	処置	○東正樹	○東正樹	石松久人		副院長 大貫義則	(木) 初診受付8時~10時	
心臓外科	午後					△椎谷紀彦(1週)	再診予約のみ	
整形外科	午前	初診	大石崇人	有馬秀幸	◎鈴木義司	○相馬朋子	交代制 副院長 大貫義則	脊椎・腎臓外来は 要予約
		再診	院長 村田英之 ○相馬朋子	◎鈴木義司	有馬秀幸	大石崇人	院長 村田英之 ◎鈴木義司	スポーツ外来(月) 初診受付14時~16時 (当日受付可能)
	午後	特殊外来(予約制)	スポーツ外来		(ギプス・装具)	(乳児健診)		
ヘルニック 形成外科	午前	予約制		◎木村健				
	午後	初・再診		△藤原雅雄				(火) 受付8時~14時30分
泌尿器科	午前	初・再診	○内田孝典	○内田孝典	○内田孝典(奇数週) △三橋孝(偶数週)		○内田孝典	(木) 紹介状患者様のみ
産婦人科	午前	婦人科	△佐倉東武	◎松本一彦	藤岡洋介・嶋本敬一郎	◎松本一彦	◎嵯峨こすえ	(水) 受付8時~10時
		産科	◎松本一彦	◎嵯峨こすえ	担当医(予約のみ)	◎嵯峨こすえ	◎松本一彦	
	午後	婦人科	担当医(予約のみ)	担当医(予約のみ)	(手術)	担当医(予約のみ)	担当医(予約のみ)	助産師外来は当院通院中の 妊婦対象のみ
		特殊外来(予約制)	コルポ診・乳房外来	産褥・乳房外来	乳房外来	産褥1ヶ月健診・乳房外来	産褥・乳房外来	13時30分~16時30分
	助産師外来(予約制)	担当助産師	担当助産師	担当助産師	担当助産師	担当助産師		
眼科	午後	初・再診		△並木文子	△並木文子			(水・木) 受付8時~15時
耳鼻咽喉科	午前	初・再診	◎石崎久義	◎石崎久義	◎石崎久義	休診(手術)	◎石崎久義	(火) 予約診のみ
	午後	予約制	(予約診療・検査・補聴器外来)	(手術)	(予約診療・検査)	休診	(予約診療・検査・補聴器外来)	(木) 休診
皮膚科	午前	初・再診	○青島有美	○青島有美	○青島有美	○青島有美	○青島有美	
	午後	予約制	手術/再診(第2週)	△橋爪秀夫(第4週)	再診(予約制)	検査	再診(予約制)	
精神科	午前	初・再診	◎内田勝久/○田中徹 近藤玲加	○田中徹 △河合正好	◎内田勝久 △須田史朗	◎内田勝久 島真莉子	○田中徹 島真莉子	初診受付要電話予約 初診予約・受付・変更 15時~16時
	午後	予約制						
健診センター	予約制	◎久保田修	◎久保田修	◎久保田修	◎久保田修	△中込朗		
小笠診療所 内科	午前	初・再診	榎村義典	榎村義典	榎村義典	榎村義典	榎村義典	受付8時15分~11時30分
	午後	初・再診	榎村義典		榎村義典		榎村義典	受付14時~16時
小笠診療所 心臓内科	午前	初・再診	津田司	津田司	津田司	津田司	津田司	受付8時15分~11時30分
	午後	初・再診	／藤岡洋介	／藤岡洋介	／藤岡洋介	網分信二 内堀善有	／藤岡洋介 ／佐野潔	受付13時~16時30分

- 予約変更時間 15:00~16:00 (各科にお問い合わせください)
- 入院患者さま面会時間 14:00~20:00
- 「◎」印は診療科長、「○」印は医長、「△」印は非常勤医師を表します。
- 緊急手術や、学会等への出席のため、担当医師の変更や休診する場合がありますので、ご確認ください。
- 他の医療機関から当院へ受診される方は紹介状をご持参ください。
- 11:00以降の時間内救急は担当者が状態をお聞きした上で緊急を要する方のみ診療となります。

問い合わせ  
**TEL 0537-35-2135 (代表)**  
**FAX 0537-35-4484**  
 TEL 0537-35-2344 (地域連携室)  
 FAX 0537-35-2843  
 TEL 0537-36-5585 (健診センター)  
 TEL 0537-73-2267 (小笠診療所)  
 FAX 0537-73-5557